

貸切バス（~~初任者~~・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	有限会社H I M A W A R I	運行管理者	黒木 伸吾
実施年月日	2025 年 3 月 10 日	指導時間	座学 時間 実技 6 時間 35 分
実施場所	日向市内～入郷地区～大分～延岡	指導講師	



☐ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【実施した具体的な指導内容】

⑦ 安全運転の実技

【実施した具体的な指導内容】

中型バスを添乗にて乗務研修

- ①発進時の注意点
- ②運転姿勢
- ③運転技能
- ④危険予知技能
- ⑤バス停の停発車時の注意点
- ⑥坂道発進の注意点

* カーブの多い一般道路走行時の注意点

- ①カーブ手前では減速し、カーブの半径に応じた速度で運転すること。
- ②急な下り勾配とカーブが重なった場所ではスピードが高くなりやすいのでカーブ手前でエンジンプレーキ・排気ブレーキを利用し滑らかに減速すること。
- ③カーブを進行しながらの急減速や急ハンドルは横滑りの原因になるので手前での減速を心がけること。
- ④左右のカーブではそれぞれ内側小回りやセンターラインをオーバーしないように注意すること。

* 交差点の通行方法

- ①交差点での安全確認
- ②信号に従う義務
- ③交差点通過と安全速度
- ④右折及び左折の方法（確実な一旦停止）
- ⑤交通整理が行われていない交差点での優先順位

* 高速道路走行時の注意点

- ①料金所は速度を落とし進入し、充分加速し、スムーズに合流すること。
- ②対面通行の高速道路は制限速度を守り、なるべくキープレフトを維持する
- ③トンネル内ではライト点灯し、出口では横風に注意しスピードをゆるめる
- ④走行時は、前後左右車だけでなく、2～3台先の車両の動向にも注意しながら、安全のために車間距離を充分にとり規制速度内で走行すること。
- ⑤高速走行を続けると速度感が鈍るので常にメーターで速度を確認すること。
- ⑥出口料金所では他車の動向に注意し、通過レーンを確認し徐行すること。

次ページへ続く

運行詳細				
08:30発 本社営業所 (出庫・配車)	09:00着 09:10発 道の駅東郷 (休憩) 休憩:00:10	牧水公園	10:00着 JA南郷支店	10:30着 西郷森の科学館
10:50着 11:00発 北郷北の郷 (休憩) 休憩:00:10	小黒木地区	12:00着 本社営業所 (到着・帰庫)		

運行詳細				
13:00発 本社営業所 (出庫・配車)	門川IC上り入口	13:35着 北川はゆま	国道10号線経由	14:35着 14:45発 道の駅やよい (休憩) 休憩:00:10
佐伯IC下り入口	15:15着 かまえインターパーク	北浦IC下り出口	15:40着 15:50発 道の駅 北浦 (休憩) 休憩:00:10	16:00着 ビーチの森すみえ
16:50着 本社営業所 (到着・帰庫)				

担当運転手: 乙守俊一郎 TEL: 090-5470-4680

【配布資料】

・
・
・

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は 3 年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	有限会社H I M A W A R I	運行管理者	黒木 伸吾
実施年月日	2025 年 3 月 11 日	指導時間	座学 時間 実技 8 時間
実施場所	日向市内～高千穂～延岡	指導講師	

【実施した具体的な指導内容】

① 日向市内～高千穂～延岡市内の観光地及び、遠足で行く場所の確認と駐車方法の指導

* 中型バスにて添乗指導

- ①発進時の注意点
- ②運転姿勢
- ③運転技能
- ④危険予知技能
- ⑤急カーブの多い道路での注意点
- ⑥坂道発進の注意点

* カーブの多い一般道路走行時の注意点

- ①カーブ手前では減速し、カーブの半径に応じた速度で運転すること。
- ②急な下り勾配とカーブが重なった場所ではスピードが高くなりやすいのでカーブ手前でエンジブレキ・排気ブレキを利用し滑らかに減速すること。
- ③カーブを進行しながらの急減速や急ハンドルは横滑りの原因になるので手前での減速を心がけること。
- ④左右のカーブではそれぞれ内側小回りやセンターラインをオーバーしないように注意すること。

運行詳細				
08:00発 本社営業所 (出庫・配車)	伊方農免道路経由	延岡南IC上り入口	蔵田IC	08:50着 09:00発 道の駅よつちみろ屋 (休憩) 休憩:00:10
09:40着 09:50発 道の駅高千穂	10:00着 高千穂トンネルの駅	10:20着 10:30発 天の岩戸神社 休憩:00:10	深角IC	10:45着 道の駅青雲協 (休憩)
蔵田IC	延岡西階IC	11:15着 九保大	12:00着 本社営業所 (到着・帰庫)	

13:00発 本社営業所 (出庫・配車)	門川IC上り入口	北川IC上り出口	14:00着 道の駅 宇目 (休憩)	豊後大野IC下り入口
竹田IC出口	15:45着 道の駅波野 (休憩)	波野経由	16:45着 高千穂折原グランド (休憩)	道の駅よつちみろ屋
蔵田IC	門川IC下り出口	17:45着 本社営業所 (到着・帰庫)		
担当運転手: 乙守俊一郎 TEL: 090-5470-4680				

※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印

技能教習チェック表

実施日 R7年 3 月 11 日

実施時間① 8 時00分 ~ 時 分まで

実施時間② 時 分 ~ 時 分まで

指導担当者

初任乗務員

課長

指導者

黒木

チェック内容 A:出来ている B:概ね出来ている C:多少問題あり D:問題あり

実施項目	チェック	注意個所・指導内容
日常点検方法	A	サイドブレーキの引き方
出発準備	A	
クラッチ操作	A	問題なし
ブレーキ操作	A	
停止方法	A	時々 "カ=" となる
ハンドル操作	A	
ギヤ選択	A	坂道 手前のギヤUP、ダウンのタイミング
車間距離	A	高速時の前車との距離
アクセル操作	A	
道路走行	A	
右左折の方法	A	
カーブの方法	B	アウトイン アウト フォース取り
バックの方法	A	
駐車方法	A	
安全確認	A	
合図のタイミング	A	
歩行者・自転車の保護	A	
車両感覚	A	

【その他コメント】

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	有限会社H I M A W A R I	運行管理者	黒木 伸吾
実施年月日	2025 年 3 月 17 日	指導時間	座学 時間 実技 6 時間
実施場所	日向市内～入郷地区～大分～延岡	指導講師	

【実施した具体的な指導内容】

① 日向市内～延岡市内の観光地及び、遠足で行く場所の確認と駐車方法の指導

* 大型バスにて添乗指導

運行詳細				
08:30発 本社営業所 (出庫・配車)	08:50着 馬ヶ背	08:55着 クルスの海	09:00着 日向グリーンパーク	09:10着 大御神社
09:15着 日向サンドーム	09:30着 サンパーク	09:45着 美々津海岸	10:10着 道の駅つの	10:40着 ルピナスパーク
川南駅	都農駅	12:00着 本社営業所 (到着・帰庫)		

13:30発 本社営業所 (出庫・配車)	14:00着 延岡ヘルストピア	延岡清掃工場	14:30着 北川西郷宿陣跡	15:00着 延岡城山公園駐車場
15:15着 九保大	延岡植物園	15:45着 行滕青少年自然の家	16:45着 本社営業所 (到着・帰庫)	

担当運転手: 乙守俊一郎 TEL:090-5470-4680

【配布資料】

・
・
・

※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印



初任/第 TK25031302 号

令和 7 年 3 月 1 9 日

初任運転者教育指導記録簿（修了証）

(有)HIMAWARI

殿

貴殿は「グッドラーニング！初任運転者教育講習」を下表のとおり履修いたしましたことを証します。

1. 受講日程 令和 7 年 3 月 1 3 日～3 月 1 9 日
2. 受講時間 5 時間 0 0 分
3. 指導項目（講座）と受講結果

講座名	受講結果	点数	受講修了日時	学習時間
バスの安全な運転に関する基本的事項 PART1	修了 不合格	60	2025/03/14 10:54:27	0:21:09
バスの安全な運転に関する基本的事項 PART2	修了 合格	80	2025/03/14 10:57:31	0:16:03
バスの安全な運転に関する基本的事項 PART3	修了 不合格	50	2025/03/14 11:02:04	0:25:34
バスの安全な運転に関する基本的事項 PART4	修了 不合格	60	2025/03/14 11:05:30	0:14:25
バスの安全な運転に関する基本的事項 PART5	修了 合格	70	2025/03/14 11:09:26	0:15:09
バスの構造上の特性と日常点検の方法 PART1	修了 合格	70	2025/03/14 11:14:10	0:18:44
バスの構造上の特性と日常点検の方法 PART2	修了 合格	80	2025/03/14 11:18:40	0:19:29
進行的安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 PART1	修了 合格	70	2025/03/14 10:44:39	0:23:03
進行的安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 PART2	修了 合格	80	2025/03/14 10:49:35	0:15:28
進行的安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 PART3	修了 不合格	0	2025/03/14 10:50:11	0:11:45
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 PART1	修了 合格	80	2025/03/14 11:33:28	0:14:19
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 PART2	修了 不合格	50	2025/03/14 11:49:27	0:15:50
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 PART3	修了 合格	70	2025/03/14 13:00:42	0:42:25
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 PART4	修了 合格	70	2025/03/14 12:04:17	0:14:38
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 PART5	修了 合格	80	2025/03/14 13:15:22	0:14:30
安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法	修了 合格	70	2025/03/14 13:33:39	0:17:54
総学習時間				5:00:25

4. 留意事項

※1 次の事項は当講習には含まれていませんので、別途実施していただきますようお願いいたします。

- ① 適性診断結果に基づく運転特性に応じた運転指導
- ② 実車を用いた指導(バスの構造上の特性、日常点検、制動装置の急な操作の方法についての指導、ドライブレコーダー映像を利用した運転特性の把握と是正)

※2 標準学習時間（5 時間）に満たない場合や未受講の講座がある場合は指導主任者による補習を実施してください。



グッドラーニング！初任運転者講習事務局

株式会社キャブステーション ICT ソリューション事業部内

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー4F

Tel：050-1791-5629 Mail：icts01@cab-station.com

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	有限会社H I M A W A R I	運行管理者	黒木 伸吾
実施年月日	2025 年 3月 26日	指導時間	座学 3 時間 実技 時間
実施場所	本社休憩室	指導講師	黒木 伸吾

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

☒ 座学（①から⑥合計10時間以上） ☐ 実技指導（20時間以上）

- ☐ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
☐ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
☐ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
☐ ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
☒ ⑤ ASV車両の適切な運転方法
☒ ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
☐ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 ☐ 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

座学（9：00～12：00）

⑤ ASV車両の適切な運転方法

1. 運転支援装置に係る事故の事例

* 自動車に搭載された運転支援装置の性能に関する知識や理解が不十分であること
性能を過大評価することが事故の要因となる

2. 運転支援装置の性能及び留意点

(1) ブレーキ制御を行う装置

* 衝突被害軽減ブレーキ（前方障害物衝突被害軽減制動制御装置）
* アダプティブ・クルーズ・コントロール/ACC（定速走行・車間距離制御装置）

(2) ハンドル操作の警告や支援を行う装置

* ふらつき注意喚起装置
* 車線逸脱警報装置
* 車線維持支援制御装置

(3) 車両姿勢維持を支援する装置

* 車両安定性制御装置

⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した

運転特性の把握と是正

* 3月17日に行った乗務研修の映像を見ながら指導

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印

貸切バス（**初任者** 準初任者）特別指導記録簿

営業所名	有限会社 H I M A W A R I	運行管理者	黒木 伸吾
実施年月日	2025 年 3 月 24 日	指導時間	座学 4 時間 実技 時間
実施場所	本社休憩室	指導講師	黒木 伸吾

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

☒ 座学（①から⑥合計10時間以上） ☐ 実技指導（20時間以上）

- ☒ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
☒ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
☐ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
☐ ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
☐ ⑤ ASV車両の適切な運転方法
☐ ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
☐ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 ☐ 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

座学（10：30～12：00/13：00～16：30）

① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)

1. バス事業の公共性と重要性

(1) バス事業の社会的役割

- 公共輸送機関としての社会的役割
- 地域にとって不可欠なサービス
- 高齢者や障がい者等の乗降がしやすい

(2) バス運転者の使命

- ① 「地域の足」を支えるプロのドライバー
- ② 安全な輸送を担う
- ③ バリアフリーな輸送を担う

2. バス事故の社会的影響

- ① バス事故の特徴
- ② 事故の重大性の認識
- ③ 「事故を起こさない」信念を持つ

3. 安全運行の心構え

- ① 思いやりと譲り合いの気持ちを持つ
- ② 油断や過信をしない
- ③ 急ぎやあせりを抑える
- ④ カッカしたり、カリカリしたりしない
- ⑤ エコドライブの励行

4. 運行指示書の遵守

- ① 貸切バスの運転者は、乗務中運行指示書を携行すること
- ② 運行指示書に従って運行し経路を変更しないこと

② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法

1. バスの特性に合わせた運転

- (1) 車高の高さに配慮した運転
- (2) 車長の長さに配慮した運転
- (3) 車幅の広さに配慮した運転
- (4) 死角の大きさに配慮した運転
- (5) スピードの特性に配慮した運転

2. 多様化する車両に合わせた運転

バス車両は、その用途・使用地域などに合わせて、車両の大きさ、構造などが多様化しています。多様化するバス車両の特性に合わせた運転が必要であること

3. バスの点検、車両のチェックの必要性

「道路運送車両法」によって、運転者等は1日1回、運行の開始前の日常点検の実施が義務づけられている

- 路上故障の発生や思わぬ事故を引き起こす。
- 路上故障等が発生した際は、運転者にあせりが生じ、交通事故の危険性を高める
- 臨時整備費の発生、燃費低下などコスト面の負担を増やす。
- 乗客の利便性を損ね、業務の信用失墜に繋がる。
- 排ガス濃度の上昇、黒煙排出など環境負荷が大きくなる。
- バスのイメージや運送業界の社会的評価を低下させる。

4. 日常点検の励行

- ①平坦な場所で行う
- ②タイヤに輪止めをかける
- ③パーキング・ブレーキを確実に効かせ、ギアをニュートラルにする
- ④エンジンをとめ、スターターキーを必ず抜き取る
- ⑤走行直後の点検は、やけどをするおそれがあるため、エンジンが冷えた状態で行う
- ⑥吸気ダクトには物を落とさないよう注意する
- ⑦エンジンの上に乗るときは、パイプ類、エア・クリーナーなどの補機類に足をかけないようにする
- ⑧点検終了後は、エンジン・ルーム内にウエス（布）など燃えやすい物や工具などの置忘れがないか点検する
- ⑨最後に全体を見渡し、オイル漏れ、液漏れなどがないか必ず点検する

【配布資料】

※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印